



高温、干ばつ対策の徹底を！

連日かなりの高温で経過し、取水量についても、現状維持されているようですが、かなり厳しい状況が続くようです。今後も高温が続くと予想されていることから、高温に関する農作物の栽培管理にご留意願います。

また、高温時の農作業は、熱中症の危険性もあるため、涼しい時を見計らって行なうなど、決して無理をせず、健康管理を十分に行なった上で下記の対策を徹底して下さい。

1. 水稻の対策

- (1) 各品種とも、出穂は当初の予想(平年より1~2日程度遅い)より、2~3日程度早まり、平年並~2日程度早まると見込まれます。出穂前後は間断かん水(2堪2落)を行い、根の活力を維持しましょう。今年は降雨のない期間が長くなっており、一部乾き過ぎのほ場も見られます。ほ場の状態をよく見て、乾かし過ぎないように注意しましょう。
- (2) 出穂期は、稲体が最も水を必要とする時期です。出穂後3日間程度は2~5cmの水深を保ちましょう。また、出穂して間もない時期にフェーン等の高温・強風に遭遇すると、白穂および白粒の発生が懸念されますので、特に注意しましょう。
- (3) 各土地改良区の割水の当番日は必ず守るようにしましょう。

2. 熱中症の予防法

- (1) 暑さをしのぐ服装として、帽子の着用や通気性の良い衣類を着用しましょう。
- (2) こまめな水分補給や、こまめな休憩に心掛け、気温の高い時間は作業をしないようにしましょう。
- (3) 一人作業を極力避け、二人以上での作業を心がけましょう。

日本一

酒田・飽海米づくり情報

号外

平成30年7月30日発行

酒田農業技術普及課 酒田市若浜町1-40

TEL 0234-22-6521 FAX 0234-22-6522

異常

高温・少雨・多照！ ⇒ 今後もしばらく続く予報あり！
出穂は予想より2～3日早まる見込みです。
出穂期は遅れずに湛水管理を！！

1 気象経過

7月中旬以降、継続して高温・多照・少雨で経過し、穂孕み期(7/21～7/29)は、平均気温+3.0℃、日照時間142%、降水量0(ゼロ)となっています。

H30水稲生育時期別気象推移(酒田アメダス)

	最高気温(℃)		最低気温(℃)		平均気温(℃)		積算日照時間(時間)		積算降水量(mm)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
最高分けつ期～ 幼穂形成期 (7/6～7/20)	28.4	26.4	22.0	19.7	24.7	22.8	66.5	70.0	36.5	115.1
平年比差	+2.0℃		+2.3℃		+1.9℃		95%		32%	
穂孕み期 (7/21～7/31)	32.3	28.8	24.0	21.4	27.8	24.8	82.0	57.6	0.0	46.7
平年比差	+3.5℃		+2.6℃		+3.0℃		142%		0%	

注) 数値は、7/29までのデータで計算。

2 出穂の予想

高温・多照の影響で、出穂は当初の予想(平年より1～2日程度遅い)より、2～3日程度早まり、平年並～2日程度早まると見込まれています。

【出穂予想】 7月30日現在

ふくひびき	はえぬき・ひとめぼれ	つや姫・コシヒカリ
7/31～8/2頃	8/3～5頃	8/9～11頃

3 出穂に備えて湛水管理を！

出穂・開花期は水稲にとって最も水を必要とする「花水」の時期です。出穂直前から穂揃い期までは2～5cmの水深を保つ湛水管理を行います。

- 土地改良区の水利使用規則を守りながら、計画的に入水しましょう。
- また、用水が全域に行き渡るよう、下流の圃場にも十分配慮してください。